

『学会開催報告』

第2回 Basic Disaster Life Support
(BDLS) 金沢コースThe 2nd Basic Disaster Life Support Course
in Kanazawa

金沢大学附属病院 集中治療部

谷 口 巧

平成23年10月22日(土)、金沢大学附属病院宝ホールを会場として第2回 Basic Disaster Life Support (BDLS) 金沢コースを開催しました。昨年に引き続きBDLSコースを開催できたことを光栄に思います。今回のコースも遠くは、北海道から九州、沖縄県まで、医師、看護師、救急隊員(救命士も含む)、海上保安庁職員、医療事務員と多職種の人たちを受講生に、東京医科歯科大学救急災害講座の大友康裕教授をDirectorとして、全国から集まった救急、災害専門医を講師として招いて開催しました。

本コースは、2001年9月1日アメリカ合衆国(USA)でテロが起き、その際の対応に不備があったことを反省して、アメリカ合衆国連邦政府がアメリカ医師会とアメリカ救急医学会に要請し、心肺蘇生法(Cardiac Life Support)や外傷初期対応(Trauma Life Support)のように、全国民が災害に対する一定の知識を備えるようにと作成した教育トレーニングプログラムの1つです。今回は、平成23年3月11日に生じた東日本大震災の後のこともあり、熱心に受講されていました。また、東北の方々の参加も多いことが今回の印象として強かったです。

プログラムの内容としては、災害に対する知識を身につけた医療従事者の数を最大限にして、災害時、または災害に備えて、共通の概念と言葉を持って対応できるようにしていくことを目的として、総論から始まり、災害時にどのように対応したらよいかを順に、Detection(覚知)、Incident Management(インシデントマネージメント)、Safety and Security(安全性とセキュリティ)、Assess Hazards(ハザードの評価)、Support(支援)、Triage/Treatment(トリアージと治療)、Evacuation(搬送・避難)、Recovery(回復・復興)と、DISASTERパラダイムとして、項目ごとに解説しています。さらに、自然災害から人的災害、テロ(生物兵器、化学兵器、放射能、核兵器など)に至るまで各種災害に関して詳細に解説し、のべ8時間の充実した講義内容となっています。今回は、その中でも特に核、放射線に関して受講生も関心があったようで、熱心に講義を聴き、その後の質問に関しては時間を延長するほど討論していました。

講義終了後、アンケート調査を行い、受講生全員が災害に関して自分なりに知識を深めることが出来、また受講したいとの感想を頂きました。また、BDLSを踏まえたより高度の教育プログラムであるAdvanced Disaster Life Support (ADLS)にも是非参加したいとの意見も多く頂きました。さらに、USAで使われているSALTトリアージ法に関して興味を抱いたようで、実践の場で利用したいとの意見が多く有意義であったようです。

今回のコース成功で、日本の医療従事者が災害に関して、より一層の興味を持ち、知識も深まったと確信しております。さらに、今後BDLSの開催はもとより、ADLSの初開催にも意欲が出ております。これもひとえに、十全医学会をはじめ協力していただきました企業の皆様のご協力の賜物であったと深く感謝しております。本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願ひします。

